

第61回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2023年 7月27日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性9名 ・女性2名 ・投句0名 計11名
- 3 今回の季語 七月(文月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



緑のメセコイヤ並木

- ・風鈴の列成し風の音合わせ
- ・名残り惜し最後の畝に汗と鍬
- ・短冊に願い書く子の幼な文字
- ・蝉時雨ポリリューム競う朝ドラと
- ・着流しの粋なをとこの背の団扇
- ・洒落っ気の混じる説法沙羅の花
- ・昼寝覚ちヤイム連打の宅急便
- ・いきり立つ我がもの顔や雲の峰
- * 裾ひろき父の浴衣に深思い
- * 裾からみ特大浴衣宿の宵
- * 街並みに似合う浴衣の日暮れ時
- * 和たんすの花柄浴衣母しのぶ
- ・ほほなでる天神祭川の風
- ・雨恋し蛙鳴けども雲は無し
- ・大暑来てころもとなし歳いく
- ・炎暑径日陰をつくる傘の影
- ・通知表かけ足下校夏休み
- ・青田道天秤歩き田守かな
- ・朝起きに風鈴鳴りて凜とする
- ・学校の工事始まる夏休み
- ・涼月の語り合う影睦まじき
- * 灯涼しカラリカラリと浴衣着て
- * 浴衣袖濡らさぬようにポイ走る
- * 脛出して小走りに行く浴衣の子

* 写真で一句!
兼題: 浴衣



送不可

5 講評・添削披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

・青田道天秤歩き **田守かな**

田んぼを見回る人
細い畦道を歩く人のぎこちない動作/仕草を表現

・着流しの粋な**をとこの**背の団扇

あえて"を"を使って表現

・灯涼し**カラリカラリ**と浴衣着て

*リフレイン

・洒落っ気の混じる説法**沙羅の花**

*沙羅双樹の白い花

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・**山鳥**の声聞きながら山田池

山鳥はキジ科の鳥を表し、春の季語である。

6 次回(#62)開催日 2023年 8月24日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 八月(葉月)の季語全般

写真で一句 : 墓参り

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!

- ・炎天下愛のひとつを浜に書く
- ・キャンプ夜線香花火孫夢中
- ・良く獲れた畑に手を振る彦星や
- ・独り居や小玉西瓜でまぎらわし
- ・青田波シンクロ泳ぎ世界一
- ・天上の星も見えねど星祭
- ・花火どこ夜景の狭間天神祭
- ・畔に入り青田のあおの心地ヨシ
- ・川波に七夕夜の仄明かり
- ・百日紅枝さき枝さき飾り花
- ・梅干せば高階までも匂い立つ
- ・店さきで孫の呼ぶ声かき氷
- ・のんびりと風を背に受け昼寝人
- ・風鈴の音色涼しいやすかな
- ・笹竹に希望を願って短冊を
- ・山鳥の声聞きながら山田池
- * 振り向けば浴衣に会う河内弁
- * あの娘この娘きれいに見える浴衣着て
- * かけ込んでバス中浴衣祇園祭
- * 松風壯宴締め浴衣だらしなき